



積極的な支援を

答

返還終了まで
動きがとれない

問

山口芳正

町内外の方々のご支援のもと、署名活動もでき安心していた。

しかし一向に進展が見えず、薬が切れる、訪問診療はと、患者さんの悲痛な声が聞こえてくる。

地域に密着した医療を実践してきた酒井先生の保険医復活に、町は積極的に関与すべきだ。地域医療と住民の命を守る視点から、町の考えを聞く。

答

町長

7月25日付けで保険医登録と、指定の取り消しを受けた。現在返還すべき保険料の審査を待っている。県の関係課とも協議を重ねており、返還の時点で再開に向けて全力で取り組む。

返還の終了までは、動きがとれない状況である。

町有林の

整備は

問

山口

町有林の整備を積極的に推進し、模範となる森づくりを。また大崎、加枝間の、車道周辺の町有林整備が遅れていないか。

答

町長

町有林の面積は855㍏、合併後の間伐実績は192㍏、作業道9千102㍏を開設した。

近年は森の工場の認定を受け、国県の補助を利用し、整備を進めている。車道と接して比較的長い個所は、加枝と大屋の2カ所。加枝林道周辺の町有林整備は実施してきた。しかし奥地は民有林で、了解が得られない状況。



加枝町有林

産業活性化支援交付金の 返還はなぜ発生したか

問 山口

監査報告書に、交付金の返還が報告されている。補助金の執行に対する町民の信頼を失墜する事案だが、発生の原因等内容を聞く。

答 町 長

補助金交付規則及び交付要綱等により、適正執行に努めている。町税その他の貴重な財源で賄われており、事務マニユアル整備も進め、更なる適正執行に努める。

答 竹本企画課長

トマト選果場の整備に401万6千円の実績報告を受け、やまなみ活性協議会に補助限度額の300万円を支出していた。今回の調査で値引きによる事業費減が確認され

たが、本事業は23年度事業であり、事業年度を越えているため補助金返還となった。

答 大野産業建設課長

平成23年度仁淀川町農業確立総合支援事業補助金をやまなみ活性協議会が活用し、土地造成、防風ネット、水抜ボーリング工事の実施に対して補助金を交付することになった。

工事費は70万8千円、工期は平成23年12月14日までで、当初計画どおりの実績報告を受け、補助金を交付していた。

6月議会の指摘を受け調査したところ、受益者負担の一部に未払いが発覚した。

水抜きボーリングの事業費212万6千円の4分の3が補助金で、その差額53万3千円程の返還があった。



国道439号 長屋付近 カーブが多く通学には危ない

道路整備を急げ

問 山口

二ノ滝地区のヘリポートまでの道路が狭く、救急搬送に問題がある。待避所の設置等道路整備の考えを聞く。

答 町 長

未改良区間もあり、迷惑をかけている。二ノ滝地区の下線は、改良を進めている。用地の解消できた所は、順次整備を進めたい。

問 山口

生活道の舗装段差による事故が心配だ。高齢者、特にミニバイク通行が危険だ。管理は。

答 町 長

集落に通じる生活道、幹線道路の適切な管理を重視している。地域の声も聞き、対応する。

問 山口

国道439号柳野工区の内、トンネルと取付橋梁を開放すれば、通行の安全に大きく寄与するが。

答 町 長

新トンネル及び橋梁は、安全施設が未整備で、工事完了までは開放できない。部分的な供用を要望していく。

問 山口

大崎小学校が統合すれば、田村から池川間の通学歩道が必要になる。早期要望の考えを聞く。

答 町 長

本区間には歩道がなく、学校再編を進める中でも必要である。県や県議会にも、強く要望していく。

町の課題と自慢

清流仁淀ブルー
産業活性化

答



問

若藤敏久

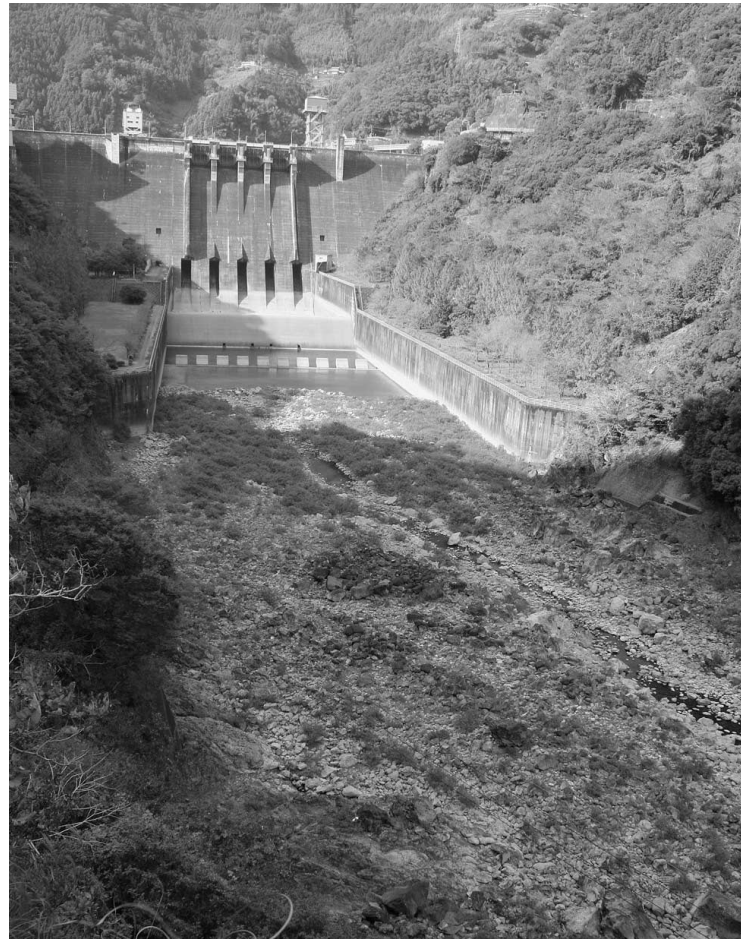
山積する課題の中で、早期対策が必要なものは、また「これが仁淀川町よ」と自慢できるものは何か。

答

竹本企画課長

課題は産業活性化、若者定住、高齢者福祉、生活環境、集落活動の維持などで、産業が活性化しなければ若者定住も難しく、最重要課題と考えている。

自慢できるものは仁淀ブルーとして放映された清流仁淀川で、今や胸を張って全国に誇れる資源である。



大渡ダム

大渡ダム直下に
沈殿堰を

問

若藤

課題の克服と町の将来は、執行部の対策次第だ。議会は全面的に協力をする。

今をときめく仁淀ブルーだが、これはいの町や安居溪谷付近の話で、本流の大渡ダム直下はヘド口の海である。

雨雲や台風が九州の南

答

町長

森林や地域環境林の整備を生かし、流域の環境保全に努力する。

ダム湖や下流は全国的な課題となっており、人工沈殿堰に効果があれば国や県に要望していく。

に近づく、ダムから一気に放流され緑の洪水となり、台風が過ぎ一週間もすると長者川や土居川は澄みきった清流、仁淀ブルーとなるが、大渡ダム直下1kmは茶色く濁った泥が淵に沈殿し、異臭を放つ。

これでは土居川や長者川の流域住民の努力で清流を守ってきたが、過疎、高齢化の現在、限界にきている。

ダムからは濁りを除去して放水すべきだ。それができなければ、第2減勢工の下方に沈殿堰を設置するよう国交省に要請してほしい。

大渡ダム完成以来、この現状を放置してきた行政、議会の職務怠慢と言われても仕方のない状況となっている。

補助金

問

若藤

補助金の値引きや滞納なら問題となるが、受益者負担分を追求するのは個人攻撃で気持ちのよいものではない。

厳しい状況の会社に補助金を支出し、この会社は倒産、300万円を超す住民の血税が水の泡となっている。担当はどう責任を取るのか。

答

竹本企画課長

夏場は生野菜や加工品が傷むため、保冷車を購入したいと申請があり、町の貴重な高齢者の職場でもあるので助成をしたが、この会社は破産をした。経営状況など役場の判断が甘かった部分もあったと反省をしている。

仕様書は 町の法律

問
若 藤

あなた方が定めた規則や仕様書は、町の法律だ。ゴミ収集業者がこの法律を守らないから、二度に渡り注意をした。

答
片岡町民課長

業者を指導するのではなく、仕様書を業者の都合の良い方向に変更しているがなぜか。批判監視をし、議員の職責を果たしている私の立場はどうなるのか。

仕様書に定めている前日には、収集用コンテナを設置できない業者もあり、住民の不利益にならない範囲で仕様書を変更した。

問
若 藤

資源ゴミの収集日を、月曜日としている地区がある。前日は日曜日で、休日の委託料は査定額に含まれていない。

前日に設置できない業者があるのではなく、町民課の計画ミスから変更をした、と正直に答えてもらいたい。

答
片岡町民課長

以後注意をする。

議長一口メモ！

地球は46億年前に誕生し、酸素ができたのは27億年前、人類が誕生したのは470万年前。地球温暖化は18世紀半ばの産業革命以降に少しずつ始まり、多くは人間による化石燃料の消費で「温室効果ガス」が増えることが原因となっている。

「京都議定書」などで温暖化防止の取り組みを世界的に進めているが、先進

国途上国の間で難問があるというが…。今、何千年も地表を覆う氷河、永久凍土が溶けている。北極の水が溶け、シロクマが困窮している映像を見る時、地球の全ての生物の姿とも思われる。異常気象は天にも地上にも海中にも影響を与え、異変が起こっている。温暖化防止は、福岡県大木町で研修した、循環型社会づくり、もったいない精神ではないか。

片岡 政徳



放課後子ども教室（大崎地区）

放課後 子ども教室は

問
若 藤

現状と5人以上でない
と開設できない理由は。

答
大野教育長

大崎教室7人
池川教室15人
条例で5人以上と定めているのは、安全管理や学習アドバイザーなど3人の職員が必要で、施設運営上適正規模を考え、最低人数を定めている。

仁淀のある母親は、「大崎と池川は居残りでよいのに、なぜ私は子どもを

答
大野教育長

大崎まで連れて行かなければならないのか、同じ住民で不公平ではないか」と言われた。
この声に答えて欲しい。

条例を改正し5人以下で開設となると、経費面で財政当局の理解が必要となる。

この教室は学力向上にも効果もあり、5名以上の確保に向け、最善の努力をする。